

[JPACP2025-031] 公開シンポ「こころの加齢と発達—実験研究から考えるウェルビーイング—」・10月4日

If you are unable to see this message, click the URL below.

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2025/09/JPACP2025-031.pdf>

公益社団法人日本心理学会 認定心理士 各位

◆-----◆
公開シンポジウム

「こころの加齢と発達—実験研究から考えるウェルビーイング—」
(2025年10月4日(土))

https://psych.or.jp/event/sympo2025_1/
◆-----◆

■日時

2025年10月4日(土) 14:00-16:00 (開場 13:30)

■場所

・愛知淑徳大学 星ヶ丘キャンパス 5号棟5階 55A教室

定員 200名

※対面開催のみとなります

■概要

日本はいま、世界一の高齢社会です。

生涯にわたる発達変化と長い適応の過程で起こることとは？

心理学の認知研究から「人生100年時代の幸福」について考えます。

■話題提供者

坂田 陽子 (愛知淑徳大学) 「子どもとの会話で心も脳も生き生き！実験結果が明かすその理由」

土田 宣明 (立命館大学) 「実行機能からみた高齢期の "弱み" と "強み" 」

増本 康平 (神戸大学) 「高齢期の記憶と幸福の関係：老いへの偏見に縛られていませんか？」

■指定討論者

権藤 恭之 (大阪大学)

■企画・司会

久保 南海子 (愛知淑徳大学) 権藤 恭之 (大阪大学)

■お申し込み

下記本シンポジウムのページより、「お申し込みはコチラ」ボタンをクリックして所定の事項をご登録ください。

https://psych.or.jp/event/sympo2025_1/

・事前申込制【申込締切：2025年9月30日(火)】

・どなたでもご参加いただけます。

